

公認プログラム

2021年版
更新版

2020
交通対策
ハンドマップ

競技会場・関係施設周辺の交通対策情報をはじめ、大会関係者が使用する東京近郊の大会ルートや料金使用が適用される首都高速道路を一通り掲載！▼裏面をチェック

2020TDM推進プロジェクト事務局

当プロジェクトは、東京都・内閣府・東京2020組織委員会が事務局となり推進しています。

HOW TO USE

— 2020 交通対策ハンドマップの使い方 —

2021年7月、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。大会期間中は、選手ならびに大会関係者の移動のため、様々な交通対策の実施が予定されています。「2020交通対策ハンドマップ」では、競技会場・関係施設周辺の詳細な交通対策情報をはじめ、大会関係者が移動の際に使用する「大会ルート」等をまとめて掲載。地図を見ながら各地の交通対策情報を一瞥で確認することができます。

このハンドマップを参考に、2021年夏に向けた準備を進めましょう。

大会ルートを確認！

競技会場周辺の詳細な交通対策情報を確認！

<<< 詳細は裏面をご覧ください

大会期間中の交通対策

大会期間中は選手ならびに大会関係者の円滑な移動のため、様々な交通対策の実施が予定されています。

2021年7月19日(月)～9月5日(日)

(8月10日(火)～8月23日(月)は除く)

※この期間の前後も競技会場周辺の交通対策や聖火リレーに伴う交通規制等が行われます。また、開会式の日(8月24日(火))はオリンピックスタジアム・選手村周辺、首都高速道路で交通規制が行われます。(「主な日程」参照)

大会期間中に実施される交通対策

1 大会ルートの設置

大会ルートとは、選手や大会関係者が競技会場等へ移動するために使用する高速道路・一般道のごときで、専用の看板や路面標示が設けられます。一部一般道路には大会車両専用レーンや優先レーンが設置されます。

▼詳細はこちら

2 一般道、競技会場周辺の交通対策

一般道における交通混雑を緩和するため、信号調整や駐車対策が一部で実施されるほか、競技会場周辺には禁止進入エリアや通行規制エリア、う回エリアが設けられます。

▼詳細はこちら

3 首都高速道路における料金施策

首都高速道路の混雑を低減するため、下記の期間で夜間割引、ならびに料金上乗せが実施されます。

適用期間：7月19日(月)～8月9日(月)・8月24日(火)～9月5日(日)

夜間割引：5割引(0～4時) 首都高全線・ETC搭載全車種が対象※現金車は除く

料金上乗せ：1,000円上乗せ(6～22時首都高都内区間・ETC搭載マイカー等が対象)

※対象外車種：中型車、大型車、特大型車、乗用車(小型貨物、タクシー等)、大型トラック(小型貨物)、乗用バス等(乗車前乗客)

※現金車の場合：首都高全線・普通車以下の全車種が対象

▼詳細はこちら

4 高速道路の交通対策

本線料金所の通行制限が終日実施されるほか、交通状況に応じて入口閉鎖、本線車線規制、JCT部での方向別規制が実施されます。

▼詳細はこちら

活用できる施策

【無料】大会輸送影響度マップ(道路・鉄道)

大会期間中に発生する交通混雑が道路や鉄道に及ぼす影響について日ごと・時間帯ごとに表示しています。自社や取引先がどのような影響を受けそうか、事前に確認し対策をとみましょう。

▼詳細はこちら

【無料】個別コンサルティング

2020TDM推進プロジェクトでは、大会時に想定される交通による影響をふまえ、各社様の事情に合わせた取組や対策をご提案する個別コンサルティングを実施しています。

▼詳細はこちら

【無料】大会時の遅延等を想定した所要時間・経路探索システム※

任意の出発地・目的地を入力することで、大会時の所要時間やう回ルート等を確認できます。通常時の所要時間と比較することで社業への影響を確認したり、影響の少ない時間帯やう回ルートを検討したりといった利用が可能です。

※©2020TDM推進プロジェクト登録者専用

▼詳細はこちら

主な日程

オリンピック(7/23～8/8)

パラリンピック(8/24～9/5)

交通対策実施期間

日	月	火	水	木	金	土
7/18	19	20	21	22	海の日 23	スポーツの日 24
25	26	27	28	29	30	31
8/1	2	3	4	5	6	7
8/8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	9/1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11

※記載されている自転車競技・トライアスロン・マラソンは都内路上で競技が開催されます。

2020TDM推進プロジェクトにご登録ください！

「2020TDM推進プロジェクト」とは、東京都、国、大会組織委員会の三者が中心となり、東京2020大会期間中の交通混雑緩和と企業活動の継続に向けた取り組みを推進しているプロジェクトです。

お申込みはこちら ▶ <https://2020tdm.tokyo/>

物流対策に向けた準備

東京2020大会時には道路交通の混雑が予想されており、荷物が予定通りに届かない事態が想定されます。従来の発注方法や納品方法を見直す等、早めの対策を講じることで、大会期間中の安定した経済活動の継続を図りましょう。

物流効率化に役立つ取組例

事前発注・事前納品・納品・調達量の調整

事前発注・納品により物品の在庫切れを防ぎます。

▼詳細はこちら

複数日分の一括発注への対応

納品先からの一括発注の受け入れ体制を整えることで、頻繁な小口発注を見直すことができます。

▼詳細はこちら

納品時間の見直し

納品時間を深夜や早朝にずらすことで、円滑な走行が期待できます。

▼詳細はこちら

他社・他品目との共同配送

他社との協力体制の確保と調整を行うことで、配送回数が削減され、輸送コストの削減が期待できます。

▼詳細はこちら

配送ルートの最適化

注文状況から最適ルート进行分析するシステムなどを構築することで、輸送コストの削減に繋がります。

▼詳細はこちら

活用できる支援策

【無料】個別コンサルティング(2020物流TDM実行協議会)

2020物流TDM実行協議会では主に中小企業を対象に、物流対策に関する個別コンサルティングを実施しています。事業内容や経営状況を伺いながら、取組可能な対策や助成金を紹介するほか、商店街単位での勉強会等も実施いたします。

詳しくはこちら ▶ <https://tdm-logi-2020.tokyo/>

アクションプランを作成

東京2020大会期間中に実施する自社の交通対策を検討するため、下記のチェックリストをご活用ください。さらに詳しい情報をご希望の方は、2020TDM推進プロジェクト公式ホームページをご確認ください。

	取組	取組内容	実施対象者	担当部署・担当者
例	☐ 夏期休暇時期の調整・有給休暇の取得奨励	夏期休暇期間をお盆からオリンピック期間に変更	従業員全員	人事部
物流対策	☐ 事前発注・事前納品・納品・調達量の調整			
	☐ 複数日分の一括発注への対応			
	☐ 他社・他品目との共同配送			
	☐ 納品時間の見直し			
道路う回	☐ 配送ルートの最適化			
	☐ 影響が懸念されるルートを回避した走行ルートの設定			
	☐ 公共交通機関の利用(鉄道、バス)			
	☐ 混雑時間、混雑期間を避けた移動			
新しいワークスタイル	☐ 時差出勤制度・フレックス制度の導入			
	☐ 半日や時間単位のテレワーク制度の導入			
	☐ 週単位等まとまった期間でのテレワーク実施			
	☐ 会議・打合せイベント等をオンラインで実施			
	☐ シェアオフィス・サテライトオフィスの活用			
	☐ 一斉休業(特に混雑が予想される期間)			
	☐ 夏期休暇時期の調整・有給休暇の取得奨励			

新しいワークスタイルへ

テレワーク

テレワークによる在宅勤務やサテライトオフィス勤務に切り替えることで、新型コロナウイルス感染防止対策に取り組むとともに、自社の働き方改革や生産性向上を目指します。

(活用できる支援策)

テレワーク定着促進助成金

「新しい日常」の働き方であるテレワークの定着・促進に向け、都内中堅・中小企業に対し、テレワークの導入に必要な機器やソフトウェア等の経費を助成します。

※HPは2021年5月10日公開予定

▼詳細はこちら

「テレワーク東京ルール」実践企業宣言制度

各企業が実情に応じて「わが社のテレワークルール」を設定・宣言する制度です。宣言企業には、東京都が融資や人材確保の支援を行います。(融資利率の優遇や信用保証料を補助等)

▼詳細はこちら

TOKYOテレワークアプリ

テレワークの導入・実践に必要な情報入手できるほか、セミナー等のお申込みやサテライトオフィス等の検索等、テレワークの推進を支援する東京都公式アプリです。

▼詳細はこちら

オフピーク通勤・夏期休暇

通勤時間をずらし、朝の通勤ラッシュなどを避けていただくことで、公共交通の混雑緩和を促進します。また、大会期間中に夏期休暇や有給休暇を取得することで、交通混雑の回避を図ります。

※前回はお盆休みに設定していた夏期休暇は今年はお盆休み期間中の8月上旬に変更しよう。

※会社の近くに競技会場がある。競技開始時間が9:30だから、混雑を避けるために従業員の出勤時間を10:30に変更しよう。

